



STATION Ai



© Studio Ghibli



©Aichi International Arena Co.,Ltd.

# 「日本一元気な愛知をつくる」

愛知県 経済産業局長 矢野 剛史

地域活性学会

2024年9月6日(金)



©Central Japan Railway Company All rights reserved.



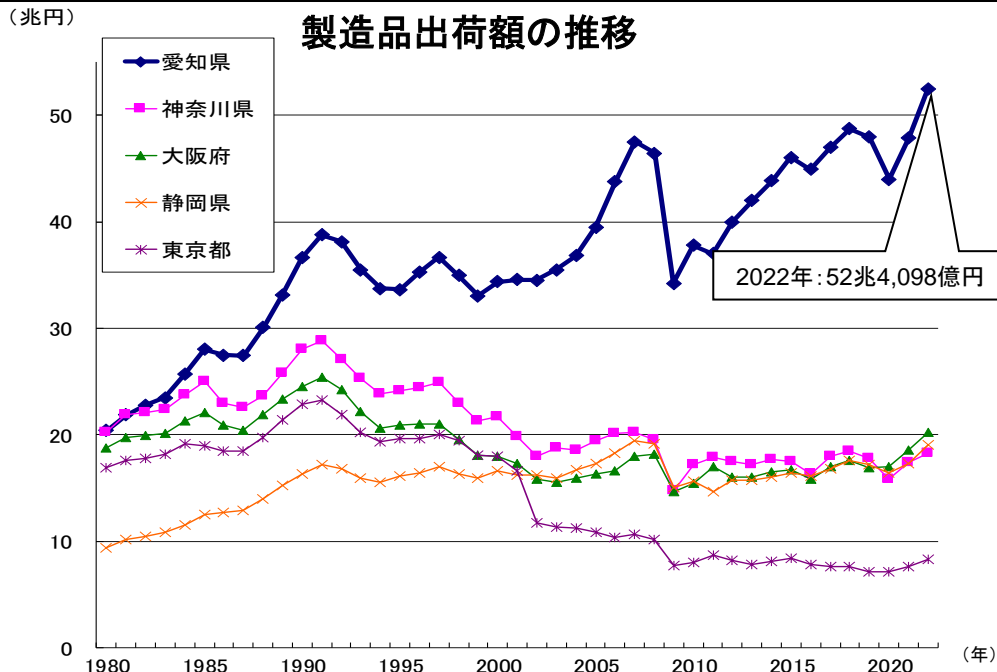
©三菱重工/JAXA



©SkyDrive

# 産業集積日本一・貿易黒字日本一

- 愛知県の製造品出荷額等(2022年)は、52兆4,098億円で46年連続日本一2位(大阪府:20兆2,489億円)以下を大きく引き離す
- 輸出額は、20.2兆円(2023年)で日本一。日本全体の貿易収支が赤字(9.3兆円)となる一方、愛知県の貿易収支(県内の空港・港湾における輸出額と輸入額の差)は、10.2兆円の黒字



出典: 2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)(総務省・経済産業省)  
 (2011、2015、2020は経済センサス(総務省・経済産業省))(2019以前は工業統計表(総務省・経済産業省))

## 愛知の《全国シェア1位》の業種(10業種)

|                                      |  |                                    |  |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|--|
| 輸送用機械器具<br>全国シェア 40.3%<br>28兆4,153億円 |  | 電気機械器具<br>全国シェア 18.7%<br>3兆9,935億円 |  |
| ゴム製品<br>全国シェア 14.1%<br>5,236億円       |  | 鉄鋼<br>全国シェア 13.2%<br>3兆1,637億円     |  |
| プラスチック製品<br>全国シェア 12.5%<br>1兆6,624億円 |  | 金属製品<br>全国シェア 10.6%<br>1兆7,863億円   |  |
| 窯業・土石製品<br>全国シェア 10.1%<br>8,361億円    |  | 繊維工業<br>全国シェア 10.0%<br>3,737億円     |  |
| 業務用機械器具<br>全国シェア 10.0%<br>6,875億円    |  | 生産用機械器具<br>全国シェア 9.6%<br>2兆4,206億円 |  |

出典: 2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)  
 (総務省・経済産業省)

## 【輸出入の状況(2023年)】

|           | 輸出額               | 全国シェア        | 輸入額              | 全国シェア       | 差引(貿易収支)          |
|-----------|-------------------|--------------|------------------|-------------|-------------------|
| 全国        | 100兆8,738億円       | —            | 110兆1,956億円      | —           | ▲9兆3,218億円        |
| 東京        | 7兆9,292億円         | 7.9%         | 16兆1,478億円       | 14.7%       | ▲8兆2,186億円        |
| <b>愛知</b> | <b>20兆1,706億円</b> | <b>20.0%</b> | <b>9兆9,952億円</b> | <b>9.1%</b> | <b>10兆1,754億円</b> |
| 大阪        | 11兆9,716億円        | 11.9%        | 12兆5,646億円       | 11.4%       | ▲5,930億円          |

出典: 貿易統計(財務省)

# 日本のGDP(主な都道府県の比較)

○ 愛知県の2010年度に対するGDP増加率17.3%は、全国平均を大きく上回り、東京を始め、GDP規模上位10都道府県のトップ。

|           | 2010年度<br>(円)    | 全国<br>シェア   | 人口<br>(人)   |   | 2020年度<br>(円)    | 全国<br>シェア   | 増加率<br>(%)  | 人口<br>(人)   |
|-----------|------------------|-------------|-------------|---|------------------|-------------|-------------|-------------|
| 全国        | 511兆2,673億       | —           | 12,806万     |   | 558兆7,783億       | —           | 9.3         | 12,615万     |
| <b>愛知</b> | <b>33兆8,245億</b> | <b>6.6%</b> | <b>741万</b> | ➔ | <b>39兆6,593億</b> | <b>7.1%</b> | <b>17.3</b> | <b>754万</b> |
| 東京        | 97兆9,115億        | 19.2%       | 1,316万      |   | 109兆6,016億       | 19.6%       | 11.9        | 1,405万      |
| 兵庫        | 19兆6,451億        | 3.8%        | 559万        |   | 21兆7,359億        | 3.9%        | 10.6        | 547万        |
| 埼玉        | 20兆9,821億        | 4.1%        | 719万        |   | 22兆9,226億        | 4.1%        | 9.2         | 734万        |
| 千葉        | 19兆 222億         | 3.7%        | 622万        |   | 20兆7,756億        | 3.7%        | 9.2         | 628万        |
| 北海道       | 18兆1,227億        | 3.5%        | 551万        |   | 19兆7,256億        | 3.5%        | 8.8         | 522万        |
| 大阪        | 37兆 11億          | 7.2%        | 887万        |   | 39兆7,203億        | 7.1%        | 7.3         | 884万        |
| 静岡        | 16兆2,098億        | 3.2%        | 377万        |   | 17兆1,052億        | 3.1%        | 5.5         | 363万        |
| 神奈川       | 32兆7,743億        | 6.4%        | 905万        |   | 33兆9,055億        | 6.1%        | 3.5         | 924万        |
| 福岡        | 18兆2,675億        | 3.6%        | 507万        |   | 18兆8,869億        | 3.4%        | 3.4         | 514万        |



# 世界一の自動車産業①

○ 完成車メーカー、大手部品メーカーの世界的な生産拠点を形成

中部地域の自動車産業の製造品出荷額等は**35兆4,177億円**

**シェア56.4%**とダントツ。

事業所数においても3,372事業所(シェア44.6%)にのぼる。

2023年経済構造実態調査-製造業事業所調査(総務省・経済産業省):中部地域【愛知・岐阜・三重・静岡・長野】

**トヨタ自動車(株)**

本社【豊田市】・域内11工場

**豊田合成(株)**

本社【清須市】・域内8工場

**スズキ(株)**

本社【浜松市】・域内4工場

**(株)デンソー**

本社【刈谷市】・域内11工場

**愛知製鋼(株)**

本社【東海市】・域内7工場

**本田技研工業(株)**

本社【東京港区】・域内2工場

**(株)豊田自動織機**

本社【刈谷市】・域内11工場

**トヨタ紡織(株)**

本社【刈谷市】・域内12工場

**三菱自動車工業(株)**

本社【東京港区】・域内1工場

**(株)アイシン・グループ企業**

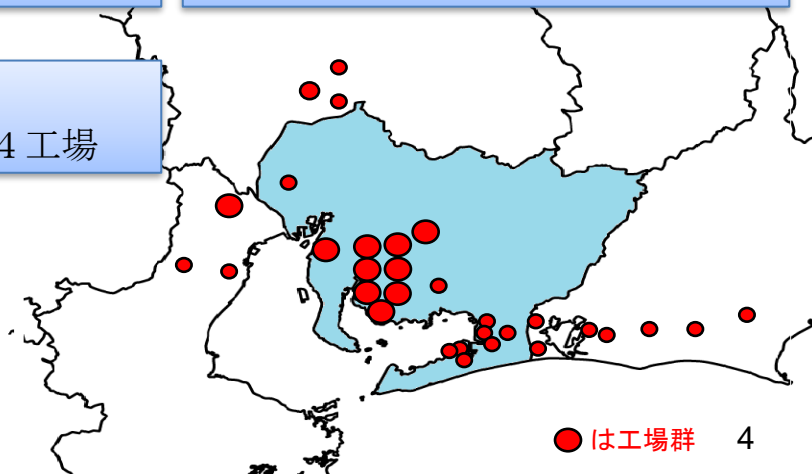
本社【刈谷市】・域内40工場

**トヨタ車体(株)**

本社【刈谷市】・域内4工場

**(株)ジェイテクト**

本社【刈谷市】・域内7工場





# 世界一の自動車産業②

## ゼロエミッション自動車(FCV・EV・PHV)とインフラ整備

- 水素ステーション整備に県独自の補助を実施。整備数35か所(整備中含む)で日本一(2024.7月末日現在)
- 事業者のFCV・EV・PHV 導入費の一部を補助。EV・PHV公共用充電インフラ 1,153か所(2023.3月末日現在)

## 自動車安全技術の研究、自動運転の実証実験

- 県内の企業、大学、行政により「自動車安全技術プロジェクトチーム」を設置(2013.6月)
  - 自動運転実証実験を実施・支援するなど、自動車産業分野の新技术開発を促進
- 【2024年度】名古屋駅付近とSTATION Ai間で定期運行を開始するほか、中部国際空港島及び周辺地域や、愛・地球博記念公園において実証実験を実施

- ✓交通量の多い都市部における定期運行の実施(名古屋市)
  - ・市街地の複雑な道路環境における円滑な走行
  - ・ロボットタクシーの県内展開に向けた課題の抽出及び対応策の検証
- ✓中型バス車両による高速道路の走行検証 及び  
コミュニティバスをイメージした自動運転サービスの検証(常滑市)
- ✓多数の歩行者が行き交う場所での歩車共存の検証(長久手市)

2024年度車両



バン型車両(名古屋市)

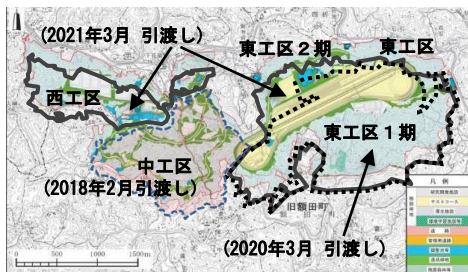


中型バス車両(常滑市)

## 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業

○研究開発拠点(トヨタ自動車株式会社)の用地を造成

- ・面積:約650ha、就業者:約3,000人
- ・事業費:約1,100億円
- ・主な施設:研究開発施設、テストコース(12本)
- ・造成工事:2012年11月～2021年3月
- ・施設建設工事(トヨタ自動車株式会社):2018年4月～2024年3月



## 西尾次世代産業地区用地造成事業

○次世代自動車分野等の製造拠点(株式会社デンソー)の用地を造成

- ・位置:西尾市(吉良町、善明町)
- ・面積:約52ha
- ・事業費:約160億円
- ・造成工事:2019年11月～2024年3月



# アジアNo.1の航空宇宙産業①

- 多くの航空機機体メーカー、宇宙機器メーカー、航空機装備品メーカーが多数立地  
 中部地域の航空機関連事業所数は**204事業所**（特区5県：愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県）  
 航空機・部品生産高（愛知・岐阜・三重・富山・石川）のシェアは全国の**35.3%** 航空機体部品では**60.3%**  
 航空機・部品の輸出額（名古屋税関内）のシェアは全国の**53.2%**

事業所数：2021年経済センサス-活動調査（総務省・経済産業省）、生産高：2022年生産動態統計調査（経済産業省）、輸出額：2023年分管内貿易概況（名古屋税関）



ボーイング787

## 川崎重工業(岐阜工場)【岐阜県各務原市】

ボーイング767・777・777X胴体パネル等部品製造、  
 ボーイング787部品製造、  
 ヘリコプター製造、宇宙関連機器製造

## 三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所

(飛島工場)【飛島村】  
 H-IIAロケット、H3ロケットの組立

## 三菱重工業名古屋誘導推進システム製作所【小牧市】

ロケットエンジン、ロケット・衛星姿勢制御装置製造

## 三菱重工航空エンジン【小牧市】

ボーイング機・エアバス機向け航空エンジン部品製造、組立、整備

## 多摩川精機【長野県飯田市】

民間航空機用センサ、モータ等航空宇宙関連機器設計・製造

## 三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所(小牧南工場)【豊山町】

航空機最終組立・艀装、航空機の修理、航空機の試験飛行

## 三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所

(大江工場)【名古屋市港区】  
 ボーイング767・777・787部品製造、787主翼組立等航空機部品製造

## 東レ名古屋事業場【名古屋市港区】

航空機用プリプレグ向け機能性微粒子生産、  
 炭素繊維複合材料(CFRP)の技術開発

## トヨタ紡織(猿投工場、豊橋東工場)【豊田市、豊橋市】

ボーイング787、737シート、  
 ANA国内線普通席(ボーイング767、777)シート設計・製造

## シンフォニアテクノロジー(豊橋製作所)【豊橋市】

電子デバイス、制御用コンピュータ、産業インフラシステム製造<sup>6</sup>

## ボーイング・リサーチ&テクノロジー

## ジャパンセンター【名古屋市】

研究開発拠点

## 日油(武豊工場)【武豊町】

小型衛星打上げ用のイプシロンロケットの開発

## ナブテスコ(岐阜工場)【岐阜県垂井町】

フライト・コントロール・アクチュエーション・システム製造

## 川崎重工業(名古屋第二工場)【飛島村】

ボーイング767胴体パネル組立

## 川崎重工業(名古屋第一工場)【弥富市】

ボーイング787前部胴体組立、  
 ボーイング777・777X胴体パネル組立

## SUBARU(半田工場)【半田市】

ボーイング777・777X・787中央翼組立

## SUBARU(半田西工場)【半田市】

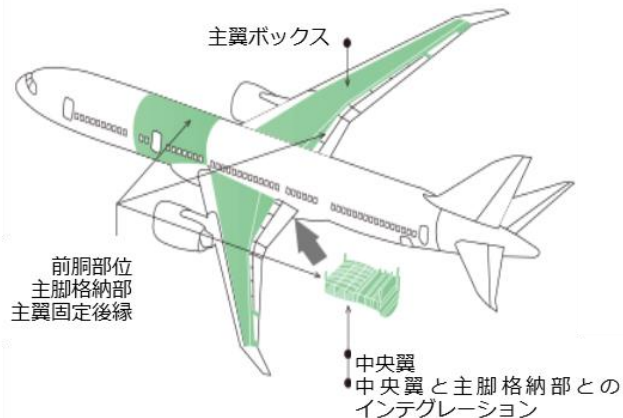
ボーイング787中央翼部品製造

## シンフォニアテクノロジー(伊勢製作所)【三重県伊勢市】

航空機用電装品、モーターコントローラ等航空宇宙機器製造

# アジアNo.1の航空宇宙産業②

- 愛知県を中心とする中部地域は、日本の航空機・部品の約4割を生産する日本最大の航空宇宙産業の集積地。2011年12月に国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定されている
- 当地域の大手航空機体メーカーは、ボーイングの主要サプライヤーとしての地位を確立



ボーイング787における生産分担

- 部分を当地域の大手航空機機体メーカーが生産  
(機体構造部品の35%)

一般社団法人 日本航空宇宙工業会「航空宇宙産業データベース」からBoeing787(日本企業の参画状況)の図を加工して作成



あいち航空ミュージアム  
(県営名古屋空港内)

航空機産業の情報発信・産業観光・  
人材育成の場として整備



H3 ロケット

種子島宇宙センターでの打上げ  
画像提供: JAXA

- 宇宙産業の分野でも、H3ロケットの開発・組立が県内で行われ、種子島宇宙センターへ搬送
- 2024年7月1日、H3ロケット3号機の打上げが成功

日本最大の航空宇宙産業の集積地として、研究開発から設計、製造・販売、保守管理までの一貫体制を構築し、アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターの形成をめざす



# ロボット・工作機械産業の集積

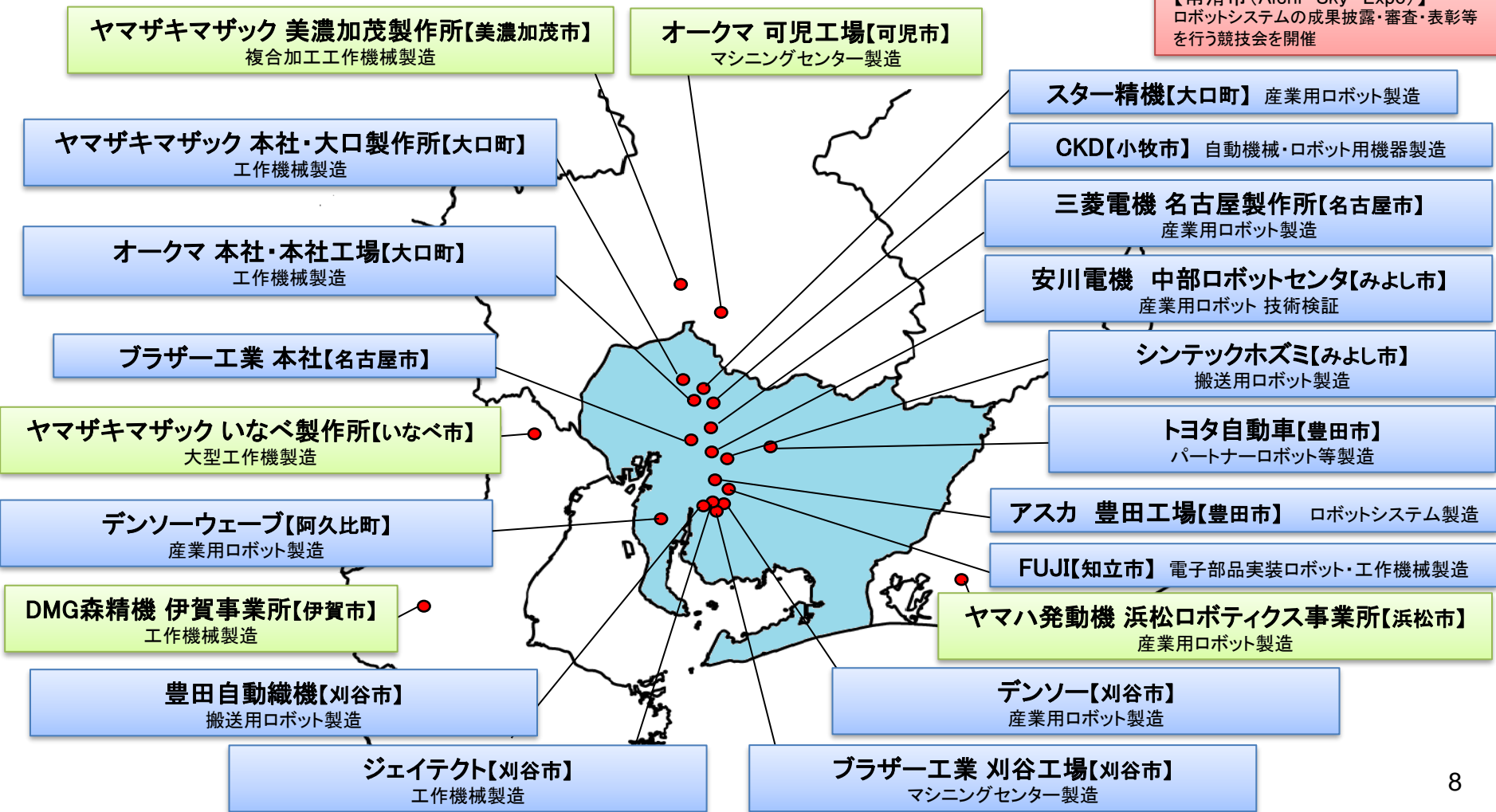
○ 工作機械の世界的トップメーカーをはじめとした世界有数の生産拠点を形成

事業所数 金属加工機械**1,957社** ロボット産業**125社**  
 出荷額全国シェア 金属加工機械**42.1%** ロボット産業**14.6%**

2023年経済構造実態調査(総務省・経済産業省):愛知・岐阜・三重・静岡

ロボティクススマートホーム  
 【豊明市】  
 サービスロボットの研究開発や実用化の促進

高校生ロボットシステムインテグレーション競技会  
 【常滑市(Aichi Sky Expo)】  
 ロボットシステムの成果披露・審査・表彰等を行う競技会を開催



# ロボット産業の振興

- 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を設立(2014年11月)し、「医療・介護等」、「空モビリティ」「業務用サービスロボット」などの分野において、ロボット産業を振興
- ロボットの本格的な社会実装段階を見据え、先導的プロジェクト等の事業化支援と開発・実装を担う人材の創出を柱に据えた、新たなロボット産業振興施策に取り組むことで、ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地の形成を目指す。

## 先導的プロジェクト等の事業化支援

### 医療・介護等分野ロボットの活用促進

- ・相談窓口を設置し、ロボット開発企業と利用現場とのマッチングや導入に向けた課題解決を支援

### サービスロボットの社会実装

- ・実証実験を通じて、新たなソリューションモデルを創出
- ・「大阪・関西万博」ロボット実証事業への参加に向けた準備



2023年度の実証実験  
左: 病院の課題解決



右: 自動配送ロボットの公道走行

### ロボット未活用領域における導入促進

- ・ロボット導入の前段階としての、事業化可能性調査や技術検証などを支援する「ロボット未活用領域導入検証補助金」を創設

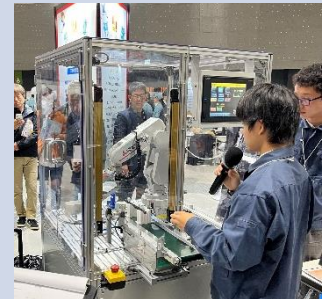
## 国際的なロボットイベント等を契機とした人材創出

### World Robot Summit 2025 愛知の開催準備

- ・2025年12月に開催する「World Robot Summit 2025 愛知」に向け、県主催サイドイベント等の実施計画を策定
- ・開催記念シンポジウムを開催

### 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催

- ・全国からチームを募集し、ロボットシステムの構築に取り組む
- ・毎年12月にAichi Sky Expoで成果を披露



競技会の様子(2023年度)

### ドローンエンジニア人材の養成

- ・ドローンの開発・製作・保守等を行うドローンエンジニア人材を養成するため、必要な知識や技術を体系化した、カリキュラムとテキストを制作

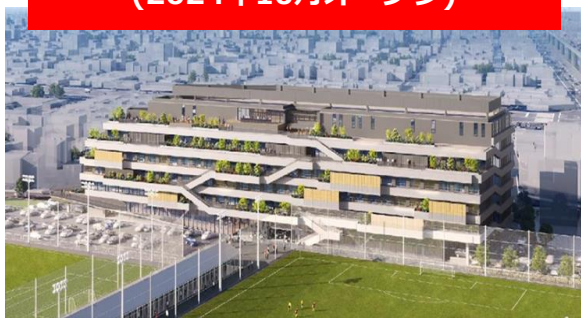
## 「STATION Aiプロジェクト」

### ◆ビジョン

『すべての人にスタートアップのワクワクを』

- ・事業手法 PFI (BTコンセッション方式)
- ・事業者 ソフトバンク(株)が設立したSPC「STATION Ai(株)」
- ・設置場所 名古屋市昭和区鶴舞
- ・延床面積 約23,600㎡ (地上7階) **[日本最大]**
- ・利用者数 1,000社 **[日本最大]**

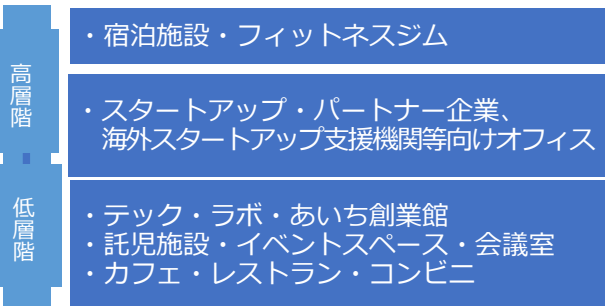
**「STATION Ai」**  
(2024年10月オープン)



SoftBank × 愛知県  
Aichi Prefectural Government

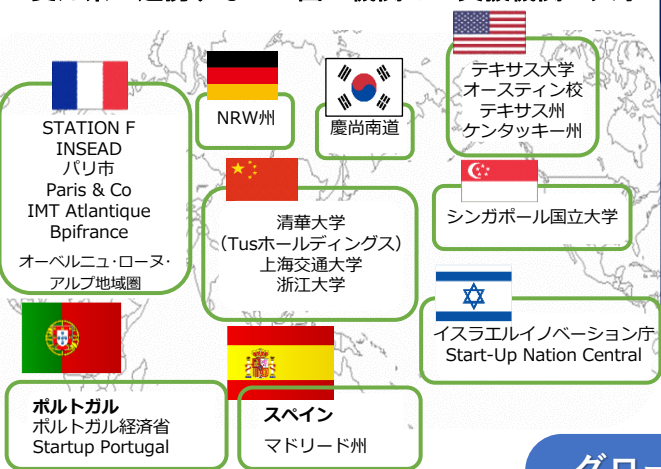
## STATION Ai

### ◆機能構成



### Global

愛知県が連携する9か国21機関のSU支援機関・大学



### スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

Central Japan Startup Ecosystem Consortiumとして、愛知県、名古屋市、浜松市、中経連、名古屋大学など「**グローバル拠点都市**」認定 (2020年7月)

グローバル・イノベーション都市の実現

### Regional

STATION Ai パートナー拠点 (イメージ)



\* パートナー拠点のコミュニティ内で関与が期待される地域のプレイヤー

2021年度からの実績

パートナー拠点

**2** 拠点

2021年度 東三河スタートアップ推進協議会  
2023年度 ウェルネスバレー推進協議会



# あいち創業館

- STATION Aiの2階に、愛知県にゆかりのある創業者・経営者の業績等を伝える施設を11月1日(金)にオープン。
- STATION Aiに集うスタートアップに勇気や励みを与え、施設の賑わいや彩りを創出するとともに、施設を見学等で訪れる子どもたちに、将来の起業家としての夢を育んでもらうことを目的とする。

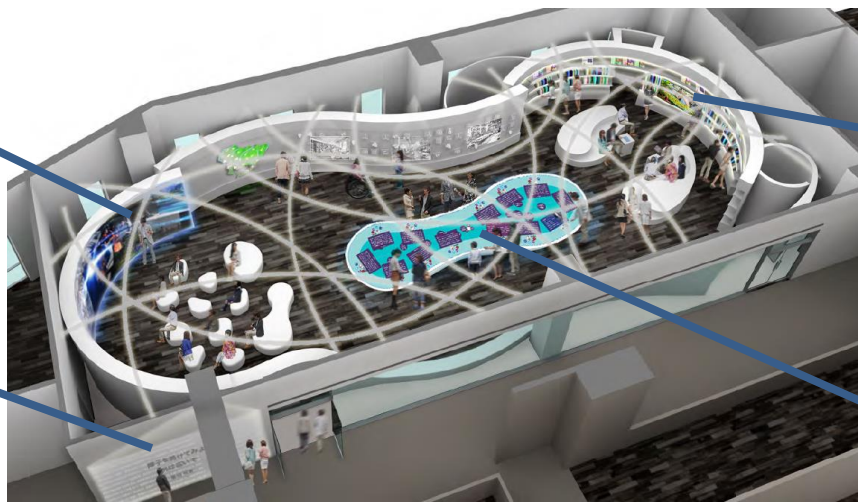
施設のコンセプト → あいちの「スタートアップマインド」に触れ、未来への扉を開くクロスオーバープレイス

## ②産業のルーツゾーン

- あいちの産業のルーツを紹介する映像や、関連する企業・製品群を紹介

## ①偉人のトイカケゾーン

- 企業家の名言が刻まれた壁



## ④探求・交流ゾーン

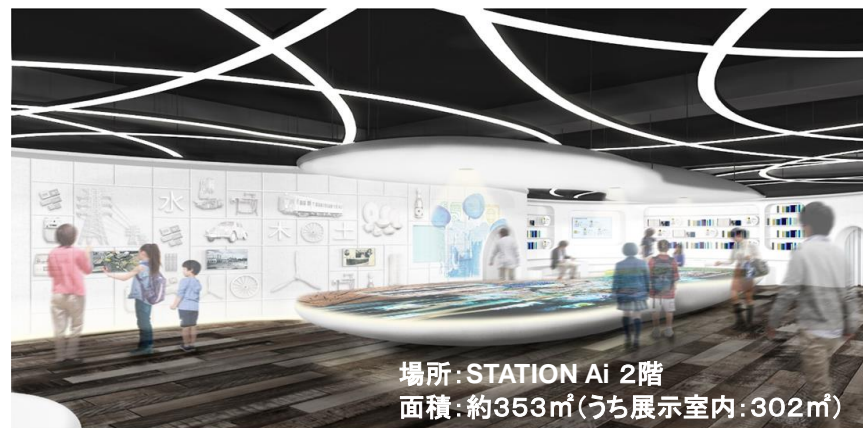
- 企業家に関する書籍が閲覧できるライブラリーを設置
- イベント等を通じた他の来館者との交流を実施

## ③偉人との出会いゾーン

- デジタル検索ツールを活用して企業家のエピソードや生み出した製品などを紹介

## 展示対象の創業者・経営者<54名>

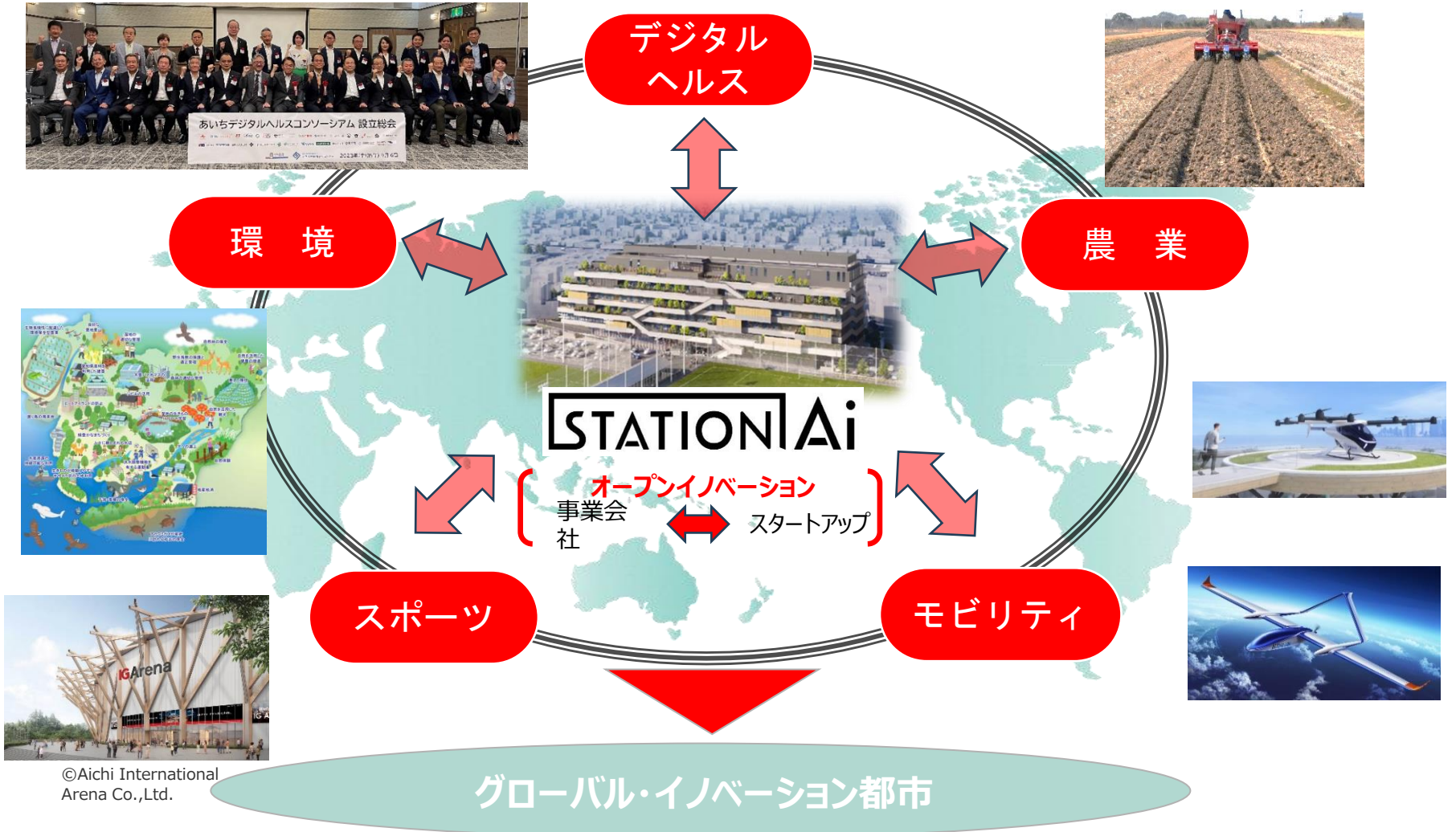
十五代 伊藤次郎左衛門祐民 <J.フロントリテイリング(株)、(株)三菱UFJ銀行>  
奥田 正香 <日本車輛製造(株)、東邦ガス(株)>  
蟹江 一太郎 <カゴメ(株)>  
神谷 傳兵衛 <オエノンホールディングス(株)>  
豊田 喜一郎 <トヨタ自動車(株)>  
豊田 佐吉 <(株)豊田自動織機>  
福沢 桃介 <中部電力(株)、大同特殊鋼(株)>  
盛田 昭夫 <ソニーグループ(株)>  
六代目 森村市左衛門 <(株)ノリタケ> 他45名



場所: STATION Ai 2階  
面積: 約353㎡(うち展示室内: 302㎡)

# グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

愛知県の新たなイノベーション創出プラットフォーム

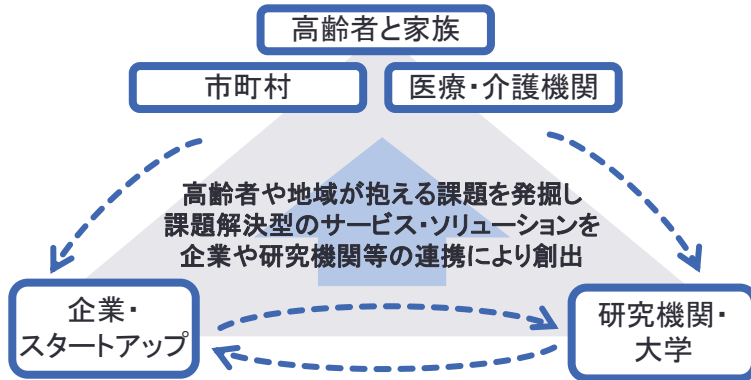


# グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

## ① あいちデジタルヘルスプロジェクト

- 超高齢社会の危機の克服に向け、デジタル技術の活用と産学官金の連携により、「健康寿命の延伸」と「QOLの維持・向上」に貢献する各種サービス・ソリューションの創出を目指す。
- 本プロジェクトの推進母体として、2023年9月、33団体が発起人となり、「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」を設立。2024年8月1日現在、59団体が参画。

### あいちデジタルヘルスコンソーシアムの役割



### 創出を目指すサービス・ソリューションの例

#### ライフログデータを活用した 総合的な高齢者支援



- ◆ 歩数や睡眠などのライフログデータ等を活用し AIによるフレイルリスクの特定や最適な改善方法の提案等を実現

#### 音声対話ツールを活用した 高齢者のICTアクセシビリティの向上



- ◆ デジタル機器に不慣れな高齢者が、会話形式でデジタル機器を操作できるような仕組みを構築



### あいちデジタルヘルスコンソーシアム会員 (59団体)

|          |   |
|----------|---|
| 一般会員     | 民間企業(25)<br>味の素(株)、(株)ATグループ、インターメディアプランニング(株)、(株)WizWe、(株)エクシング、<br>イーザイ(株)、(株)emotiveE、合同会社KANNON、(株)CCHサウンド、ジョージ・アンド・ショーン<br>(株)、(株)スギ薬局、(株)スズケン、ソフトバンク(株)、中部電力(株)、東京海上日動火災保険<br>(株)、(株)東芝、TOPPAN(株)、豊田通商(株)、名古屋鉄道(株)、(株)ナビタイムジャパン、Hubbit<br>(株)、PGV(株)、(株)三菱UFJ銀行、(株)八神製作所、(株)RehabforJAPAN |
| 特別会員     | 自治体(15)<br>愛知県、豊橋市、一宮市、春日井市、刈谷市、豊田市、東海市、大府市、<br>知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、豊明市、長久手市、東浦町   |
|          | 研究機関・大学等(9)<br>(公社)愛知県医師会、(一社)愛知県歯科医師会、(国研)国立長寿医療研究センター、<br>(独)都市再生機構中部支社、(医)豊田会、(大)東海国立大学機構 名古屋大学、<br>(公)名古屋市立大学、(大)奈良県立医科大学、(学)藤田学園 藤田医科大学  |
| コミュニティ会員 | 民間企業(10)<br>(株)インターネットイニシアティブ、(株)ウフル、NSW(株)、キャンピングカー(株)、コニックス(株)、<br>(株)サンテフィズィック、(株)Temari、トーテックアムニティ(株)、Meister(株)、LOOVIC(株)  |



# グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

## ② あいち農業イノベーションプロジェクト

- 担い手不足等の従来からの課題・カーボンニュートラル等の新たな課題に対応。

スタートアップ、大学、農業総合試験場の連携を強化し、新たな農業イノベーションを創出。

### あいち農業イノベーション研究会

- 構成員  
愛知県【会長】  
名古屋大学  
中部大学  
名城大学  
豊橋技術科学大学  
愛知県立大学  
JA愛知中央会  
JAあいち経済連  
東海農政局

### テーマ別ワーキンググループ

土地利用型作物のスマートモデル

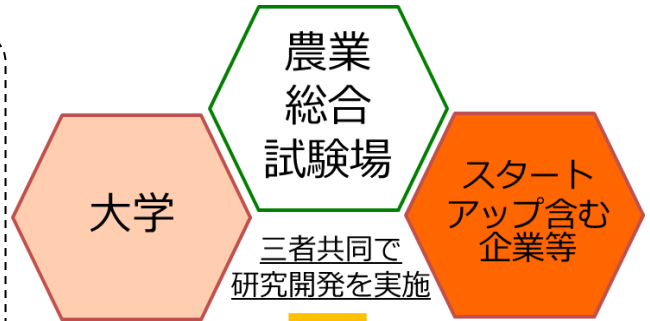
データ駆動型施設園芸モデル

持続可能な畜産モデル

テクノロジーで魅せる愛知ブランド

未来へ繋げるサステナブル農業

デジタルで結ぶスマートサプライチェーン



農業イノベーション創出による  
課題解決と新規ビジネスの創造



大豆の高速播種機

### 主な研究開発事例

農業用アシストスーツの開発 (テスト販売開始)

湿害を回避する大豆の高速播種機の開発 (現地試験開始)

IoTを活用した茶の高品質生産技術の開発 (現地試験開始)

環境DNA検出キットの開発

AIによる大葉の病害虫診断技術の開発 (現地試験開始)

# グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

## ③ あいちモビリティイノベーションプロジェクト

- 目的
  - ドローン・空飛ぶクルマ・自動運転車が同時に安全に制御され、人やモノの移動に「境界」がなくなった新しいモビリティ社会の構築を図る。
  - 新しいモビリティ社会の実現に向けた革新的ビジネスモデルの創出を図り、その社会実装を通じて社会課題（物流クライシス、人の移動の多様化・最適化、災害対応）を解決する。
  - 自動車・航空宇宙産業の世界的な集積地である強みを生かし、次世代モビリティの基幹産業化を図る。

### プロジェクトの目指す姿

4つの領域（空と人、空とモノ、道と人、道とモノ）をつなげ、多様なモビリティを最適化



### 柱1 空と道がつながる新しいモビリティ社会の実現 (需要の創出)

革新的ビジネスモデルの国内外への横展開による需要の拡大

好循環の実現

### 柱2 次世代空モビリティ産業の基幹産業化 (供給力の強化)

国内外の需要を愛知県内に取り込み、産業拠点としての機能を強化

### 推進体制



愛知県、民間事業者6社  
※プロジェクトの立ち上げに関する基本合意にいたり、連携協定を締結（2023年5月）  
※(株)プロドローン、(株)ジェイテクト、名古屋鉄道(株)、(株)SkyDrive、(株)テラ・ラボ、VFR(株)

# グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

## ④ あいちスポーツイノベーションプロジェクト

- STATION Aiのオープン、IGアリーナの開業、アジア・アジアパラ競技大会の開催を起爆剤として、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域活性化を目指す。
- プロジェクトの推進母体として、「あいちスポーツイノベーションコンソーシアムAISIA(アイシア)」を設立（2024.6.11）。

### コンソーシアムの活動内容

コンソーシアムでは、メンバー相互間で連携しながら、愛知県のスポーツから新たなイノベーションを巻き起こしていくために、3つの柱を推進する。



#### 主な取組

- ・ スポーツビジネス講座の開催
- ・ 各大学が行うスポーツマネジメント人材育成の取組



#### 主な取組

- ・ スポーツチーム等との連携共創事業
- ・ 障害者向けのマラソン大会のコンテンツ開発



#### 主な取組

- ・ スポーツテックコンテンツを活用して県民が幅広くスポーツにふれる機会を創出
- ・ スポーツチームと他産業の共創による地域課題解決型共創モデル事業

#### 【柱横断の取組】

- ・ スポーツに関連するイノベーションの情報収集と発信
- ・ メンバー相互間の連携促進・情報交換
- ・ その他、コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動



### <コンソーシアム参画団体 内訳>

- ・ スポーツチーム (15)
- ・ 競技団体 (5)
- ・ 教育機関 (5)
- ・ 経済団体・支援機関・観光団体等 (5)
- ・ 企業等 (40)
- ・ 行政機関 (8)
- ・ 設立提案団体 (2)

計80団体



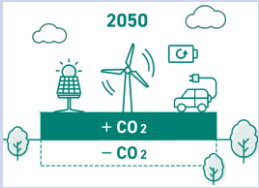

# グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

## ⑤ あいち環境イノベーションプロジェクト

- カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブといった環境分野の課題解決に向けて、革新的な技術・アイデアを有するスタートアップ等と連携し、愛知発の環境イノベーションを創出・実装

### 事業内容

- 全国のスタートアップ等から、以下の取組テーマなどについて革新的な技術・アイデアを募集
- 県内企業とのマッチングや実証フィールドの提供・紹介、取組内容及び成果のPRなどの伴走支援を実施

| 環境課題  | 取組テーマ   |
|---|---|
| <b>カーボンニュートラル</b><br>   | ① エネルギーの創出・利用モデル<br>② 温室効果ガスの吸収・利用等によるカーボンリサイクルモデル<br>③ 県民と共に進める持続可能な社会の実現モデル |
| <b>サーキュラーエコノミー</b><br> | ④ 域内資源の有効利用を通じたサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル  |
| <b>ネイチャーポジティブ</b>   | ⑤ 自然が持つ価値の見える化モデル   |

など

### 革新的な技術・アイデアの例

#### <熱電発電>

排熱と周囲との温度差を利用し、熱エネルギーを直接電気に変換



#### <マイクロ水力発電>

> 中小の河川や農業用水、上下水道など高低差の小さい水流を利用し発電



#### <DAC>

CO<sub>2</sub>濃度が極めて薄い大気中から直接CO<sub>2</sub>を分離・回収



#### <AIによる廃棄物自動選別>

#### <ドローンとAIを用いた森林状況可視化>

等

愛知県



大学



地元企業



環境イノベーションの創出・実装

# カーボンニュートラルの実現に向けた取組

- 日本一の産業県である愛知県は、温室効果ガス排出量が全国最多レベルであるため、積極的な役割を担うことが必要(ただし、県内GDPあたりの排出量は全国33位(2021年度))
- 企業・大学・研究機関等の優れた技術・アイデアを具体化・実践することにより、取組を加速
- 国(NEDO)のグリーンイノベーション基金『洋上風力発電の低コスト化プロジェクト フェーズ2(浮体式実証)』の実証海域の1つとして、太平洋側で唯一「愛知県田原市・豊橋市沖」が選定された(2024年6月)

## あいちカーボンニュートラル戦略会議

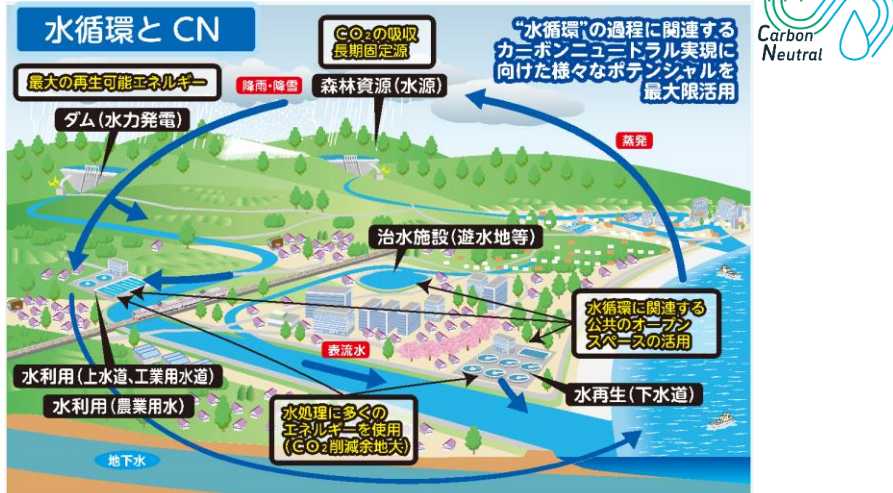
○カーボンニュートラルあいちの実現に向け、革新的・独創的な事業・企画アイデアを募集し、優れたアイデアの事業化を支援

### 【これまでに選定されたプロジェクト】

- ① 矢作川・豊川CNプロジェクト (2021年7月)
- ② 街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり (2021年11月)
- ③ CO2コンクリート固定化技術を用いた域内カーボンリサイクルプロジェクト (2023年12月)
- ④ 荷主と運輸事業者等の連携による物流脱炭素化プロジェクト (2023年12月)

### 【矢作川・豊川CN(カーボンニュートラル)プロジェクト】

- “水循環”をキーワードに官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指す
- 2021年に矢作川流域をモデルケースとして着手し、2023年からは豊川流域を対象に加え三河全域で展開



## 洋上風力発電(浮体式実証)実証海域(全国2地域)

| 実施要件等   | 内容等   |
|---------|---|
| 所在地     | 愛知県田原市・豊橋市沖   |
| 面積      | 約13.06km <sup>2</sup> (1,306ha)                     |
| 想定出力    | 15MW超(1基)   |
| 主な自然的条件 | ①風況:8.5m/s~9.0m/s、②水深:約80m~130m<br>③離岸距離:約14km~18km |

### 【位置図】



### 【イメージ】



NEDO「NeoWins(洋上風況マップ)」をもとに作成  
太平洋側で唯一

日立造船提供

# 水素・アンモニアの社会実装

○ 日本一のモノづくり産業が集積する当地において、今後も国際競争力を維持・拡大していくために、カーボンニュートラル及びエネルギー安全保障の観点から、新たなエネルギーとして期待されている水素やアンモニアの需要と供給を一体的かつ大規模に創出していく。

## あいち水素関連プロジェクト

発電所や工場、港湾、物流、農業、公共施設など、様々な分野において、水素の需要や供給を創出するプロジェクトを組成し、推進していく。

### プロジェクトの例

#### 水素・アンモニア サプライチェーン構築PJ

大規模に調達するアンモニアまたは水素を臨海部や内陸部へ輸送し、発電所や工場をはじめ、様々な分野での水素の活用を推進する。

#### 名古屋港湾水素化PJ

日本一の貨物量を取り扱う名古屋港のコンテナターミナルにおいて、荷役機械やトラック等の水素燃料化を図る。

#### 商用FCV導入PJ

日本一の貨物車両数を誇る当地において事業者に対するFC小型・大型トラックやFCバス等の商用FCVの導入を促進する。

#### カーボンニュートラル 工業炉導入PJ

日本一のモノづくり産業が集積する当地において、工業炉の脱炭素燃料化を促進するために、県技術センターに試験工業炉を整備する。

#### 浄水場水素活用PJ

豊橋浄水場において、水素燃料の活用をPFI事業の中で検討し、燃料電池や水素ガスエンジン等での水素の活用を図る。

## 中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、中部圏の自治体や経済団体等が一体となり、水素及びアンモニアのサプライチェーンの構築及び利用促進を図る。

推進会議構成員：22団体(2024年7月末現在)

経済団体(3) 名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会、中部経済同友会、民間(2) 中部圏水素利用協議会、(株)JERA、行政(17) 愛知県・岐阜・三重の3県、名古屋市はじめ9市、名古屋港管理組合はじめ2組合、中部経済産業局はじめ3国機関



アンモニア専焼を目指す JERA碧南火力発電所



包括連携協定締結式 (2022年2月21日)



# ジブリパークの整備

○2005年に開催された愛知万博の理念と成果を次世代に継承するため、愛・地球博記念公園内(長久手市)にスタジオジブリ作品の世界観を表現する5つのエリアを配置した“ジブリパーク”を公園施設として整備

○2022年11月1日に「ジブリの大倉庫」、「青春の丘」、「どんどこ森」の3エリアを、2023年11月1日に「もののけの里」を、2024年3月16日に「魔女の谷」を開園

## I 2022年11月1日開園の3エリア

### ジブリの大倉庫(約0.8ha)



[中央階段]

ジブリの秘密がいっぱいつまった大倉庫。建物の中に生まれたふしぎな町には、作品展示や子どもたちが遊べる部屋、映像展示室、カフェやショップなどがあります。

### 青春の丘(約0.8ha)



[地球屋]

映画『耳をすませば』に登場する「地球屋」、「ロータリー広場」、映画『猫の恩返し』に登場する「猫の事務所」があります。また、既存のエレベーター施設を改修し、映画『天空の城ラピュタ』や映画『ハウルの動く城』などの世界観を想起させる19世紀末の空想科学的要素を取り入れた内外装としています。

### どんどこ森(約1.8ha)



[サツキとメイの家]

映画『となりのトトロ』の「サツキとメイの家」を中心とした田園景観をイメージしており、山頂には子どもが楽しめる木製遊具「どんどこ堂」や散策路があります。

## II 2023年度に開園した2エリア

### もののけの里(約0.8ha) 2023年11月1日開園



[タタラ場、乙事主、タタリ神]

映画『もののけ姫』に登場する和風の里山的風景をイメージしており、「タタラ場」(体験学習施設)や、「乙事主(おっことぬし)」の滑り台などがあります。

### 魔女の谷(約2.9ha) 2024年3月16日開園



[ハウルの城]

映画『魔女の宅急便』、『ハウルの動く城』などに描かれているヨーロッパ風の空間をイメージし、「オキノ邸」と庭園、「ハウルの城」と荒地、「レストラン棟」などがあります。

### <ジブリパーク整備(5エリア)の概要>

- ◆整備面積 : 約7.1ha  
(愛・地球博記念公園全体は約200ha)
- ◆総事業費 : 約340億円
- ◆想定来場者数: 約180万人  
(愛・地球博記念公園全体は約280万人)
- ◆経済波及効果: 約840億円(整備時)  
約480億円/年(開園後)

画像は全て  
© Studio Ghibli

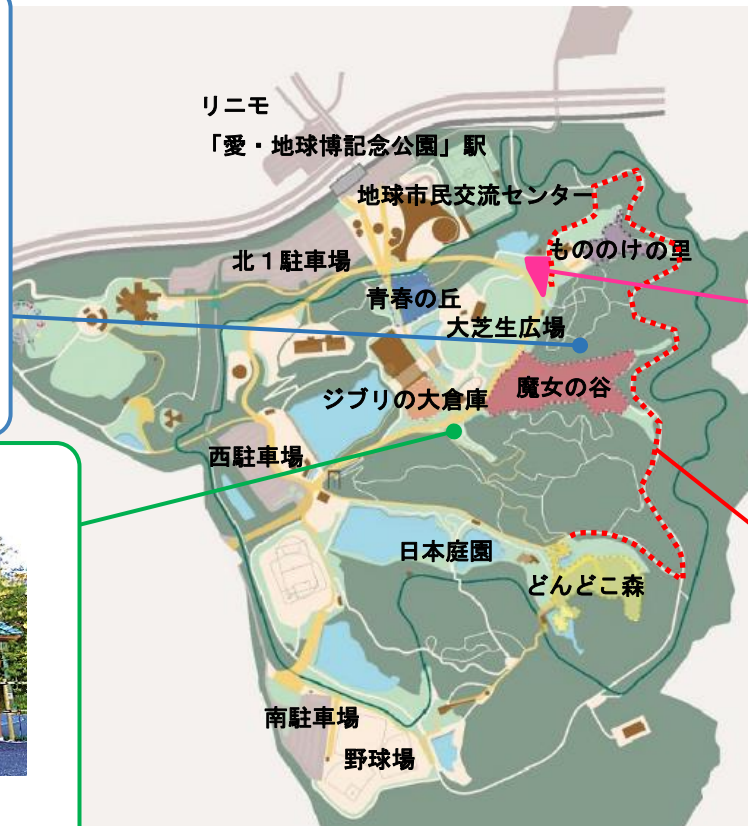
# 愛・地球博記念公園 ジブリパークと関連した公園施設

ジブリパークの整備と調和を図り、愛・地球博記念公園の魅力と価値を高めるため、ジブリパークと関連した公園施設を整備しています。

ジブリパークの開園に合わせ、公園の玄関口となる「北口広場」を再整備するとともに、スタジオジブリの映画にちなんだ遊具なども新たに整備しました。



「魔女の谷のみえる展望台」  
「魔女の谷」を上から眺めながら、記念撮影もできる眺望施設を整備（2024年3月16日利用開始）



「稲楼門広場(とうろうもんひろば)」  
「どんどこ森」へとつながる林床花園に旧料亭「稲本」の門を移築し、風景に合ったオブジェ(スタジオジブリ作品『千と千尋の神隠し』に登場する石人)を配置

「ジブリの忘れもの」  
公園内のベンチ等の各所に、スタジオジブリ作品に登場するキャラクターが置き忘れたアイテムをモチーフにしたオブジェを設置(17か所)



「猫の城遊具」  
スタジオジブリ作品『猫の恩返し』の「猫王の城」をモチーフにした遊具を整備(2023年8月4日利用開始)



「APMネコバス」  
スタジオジブリ作品『となりのトトロ』の「ネコバス」をイメージした車両を運行(「もののけの里」から「どんどこ森」を結ぶ外周通路を走行・2024年3月16日運行開始)



# IGアリーナ(愛知県新体育館)の整備

○2026年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会にも利用できるよう、2025年7月1日のオープンに向けて新体育館の整備を推進

○2021年5月31日付で株式会社愛知国際アリーナと特定事業契約を締結し、2022年7月本  
体工事に着手

## 事業方式・事業者等

PFI手法「BTコンセッション方式」により、設計・建設から維持管理・運営までを一体として実施

事業者名：株式会社愛知国際アリーナ

代表企業：<設計・建設時> 前田建設工業株式会社  
<維持管理・運営時> 株式会社NTTドコモ

その他の：Anschutz Sports Holdings (Anschutz Entertainment Group)、三井住友ファイナンス & リース株式会社、東急株式会社、中部日本放送株式会社、株式会社日本政策投資銀行

契約金額：サービス購入料 約256億円  
(参考)設計・建設費相当額 約456億円

## 施設デザイン・景観

### IGアリーナ外観デザイン



- 建築面積 約26,500㎡
- 延床面積 約63,000㎡
- 設置場所 名城公園北園

・世界に誇る名古屋城の城跡に広がる名城公園の自然と一体感を創出する「樹形アリーナ」(隈研吾建築都市設計事務所による外観デザイン)

[イメージパース図: ©Aichi International Arena Co., Ltd.]

## 施設計画

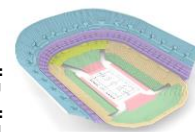
メインアリーナ観客席数

最大収容人数 17,000人 (立見含む)

大相撲開催時 11,000席 (両国国技館と同程度)

フィギュアスケート 国際大会開催時 14,100席

バスケットボール 国際大会決勝戦時 15,000席



## 維持管理・運営

- ・最新技術を活用した維持管理システムを導入し、計画的にアップデートすることで、常に最先端のスマートアリーナとし、顧客満足度の最大化を推進
- ・世界最先端のスマートアリーナにふさわしい最新の観戦・鑑賞体験を国内最大相当数のビジョン映像により演出
- ・ICTを活用して圧倒的なファンエクスペリエンスを提供

## スケジュール

2021年度 : 契約、設計

2022年度～ : 設計・建設工事 (2022年7月 本体工事着手)

2025年度 : 7月1日オープン

2026年度 : 第20回アジア競技大会 (2026/愛知・名古屋)  
第5回アジアパラ競技大会 (2026/愛知・名古屋)

## アリーナ名称

ネーミングライツにより、アリーナ名称は「IGアリーナ」に決定 (2035年まで (予定))



# 国際芸術祭「あいち2025」

- 愛知県で開催する国内最大級の国際芸術祭。2010年の第1回から3年毎に開催しており、今回で6回目の開催
- 現代美術を基軸とし舞台芸術なども含めた複合型の芸術祭で、ジャンルを横断し、最先端の芸術を「あいち」から発信

## 「あいち2025」開催概要

- テーマ A Time Between Ashes and Roses  
灰と薔薇のあいまに

テーマは中東の詩人アドニス（カヒリヤ）の詩の一節から採ったもの。  
人間と環境の複雑に絡み合った関係を、灰に覆われた終末論でも薔薇が咲き乱れる楽観論でもなく、そのあいまにある新たなモデルを、アートを通じて探求しようとするコンセプト。

- 芸術監督 Hoor Al Qasimi  
フルール・アル・カシミ ⇒ 「あいち」初の海外から招いた芸術監督  
(シャルジャ美術財団理事長兼ディレクター  
国際ビエンナーレ協会 (IBA) 会長)

- 会 期 2025年9月13日 (土)  
~11月30日 (日) [79日間]

- 主な会場 愛知芸術文化センター  
愛知県陶磁美術館  
瀬戸市のまちなか

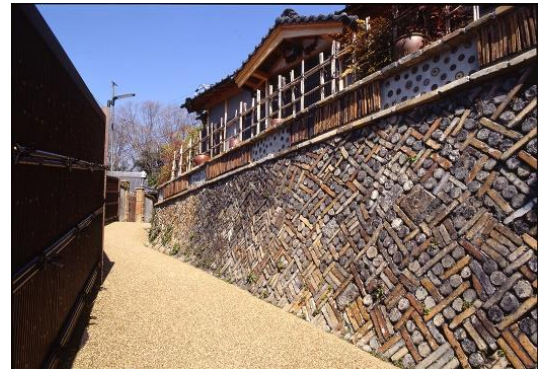
- 主 催 国際芸術祭「あいち」組織委員会  
(会長 大林剛郎 (株式会社大林組取締役会長 兼 取締役会議長) )

<フルール・アル・カシミ芸術監督>



Photo: SEBASTIAN BÖTTCHER

<瀬戸市のまちなか>



やきものの代名詞「せともの(瀬戸物)」の語源ともなった瀬戸市。2017年には日本六古窯として日本遺産に認定

# アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催

○全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域活性化につなげる取組を推進

## 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)

- 4年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典
- OCA(アジア・オリンピック評議会)主催で、加盟する45の国と地域が参加

### 【大会の概要】

■大会会期 2026年9月19日(土)～10月4日(日) [16日間]

■参加者数 選手団(選手・チーム役員)

最大15,000人 **IMAGINE ONE ASIA**

ここで、ひとつに。

■実施競技 41競技

■競技会場

愛知県内を中心に  
県外の既存施設を含め  
55会場を仮決定



20th Asian Games  
Aichi-Nagoya 2026  
HOST CITY



ホノホン  
HONOHON

## 第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)

- APC(アジアパラリンピック委員会)主催で、加盟する45の国と地域が参加する、アジア地域におけるパラスポーツの総合競技大会
- 日本では初めての開催

### 【大会の概要】

■大会会期 2026年10月18日(日)～10月24日(土) [7日間]

■参加者数 選手団(選手・チーム役員) **IMAGINE ONE HEART**

3,600人～4,000人

こころを、ひとつに。

■実施競技 18競技

■競技会場

第20回アジア競技大会  
(2026/愛知・名古屋)の会場  
を中心に、19会場を仮決定



5th Asian Para Games  
Aichi-Nagoya 2026  
HOST CITY



中日新聞社提供



第20回アジア競技大会1000日前イベント  
カウントダウンボード除幕式の様子



中日新聞社提供



杭州アジアパラ競技大会閉会式  
での大会旗引き継ぎ式の様子

第5回アジアパラ競技大会1000日前イベント  
カウントダウンボード除幕式の様子

# 『中部国際空港の将来構想』に沿った滑走路の整備

○現空港用地と新たに造成される土地を最大限活用した2本の滑走路の配置を目指し、2段階に分けて整備を進める（2021年12月14日 中部国際空港将来構想推進調整会議）

## 第1段階〔暫定形〕

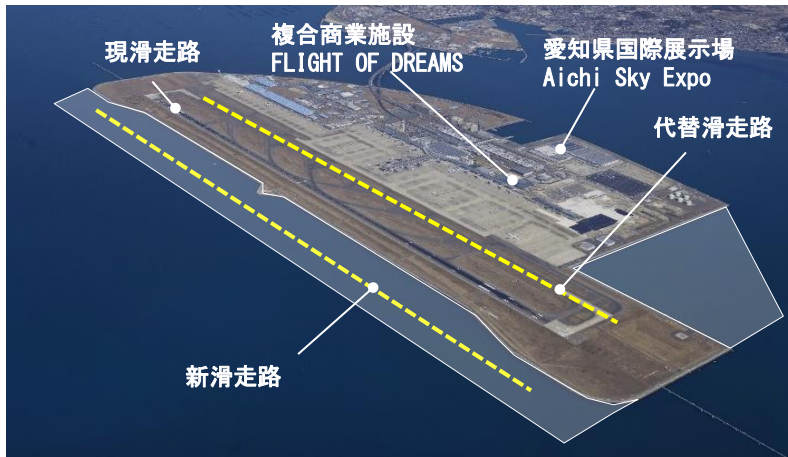


2027年度を目途に現誘導路の位置に「代替滑走路」を整備し、深夜早朝時間帯における航空機の運航を継続しながら「現滑走路」の大規模補修を実施

## 第2段階〔将来形〕



将来の航空需要等を踏まえ、「中部国際空港沖公有水面埋立事業」により造成される土地に「新滑走路」を整備し、第1段階で整備した滑走路との2本で運用



【参考】2本の平行滑走路配置と滑走路処理容量向上効果





# リニア中央新幹線の整備

- リニア中央新幹線(東京－名古屋間を40分)が開業予定
- リニア開業による首都圏との時間短縮効果をより広域的に波及させるため、名古屋駅のスーパーターミナル化、名古屋駅からの鉄道ネットワークの充実強化等の取組を推進

## リニア中央新幹線の整備



東京－名古屋間: 所要時間40分  
 東京－大阪間 : 所要時間67分

## 愛知県内の主な工事状況



### ①名古屋駅(在来線部)

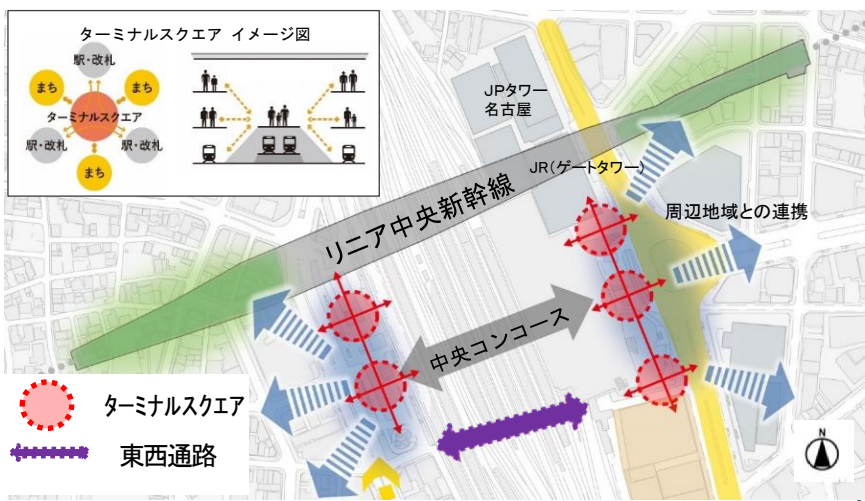


### ②坂下非常口



## 名古屋駅のスーパーターミナル化

【ターミナルスクエア】乗換先が一目で見渡せ、上下移動も円滑にでき、案内機能も備えた 広場空間を5か所設置



## 名古屋駅からの鉄道ネットワークの充実強化

【名古屋駅と西三河主要都市の速達化】

知立駅付近の連続立体交差化や、名鉄三河線の一部複線化などにより、名古屋駅－豊田市中心部駅間などの所要時間を短縮





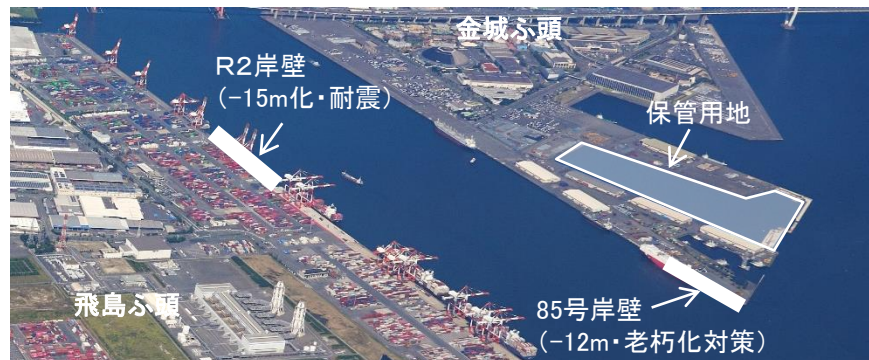
# 港湾の機能強化

○ 名古屋港、衣浦港、三河港は、モノづくり中部と世界を結ぶ海のゲートウェイであり、今後も日本の経済・産業をリードする基盤として、コンテナ、完成自動車、バルク貨物などを円滑に取り扱えるよう、機能強化を図る

## 名古屋港の機能強化

中部地域のモノづくり産業を物流面で支える「国際産業戦略港湾」として、機能強化を図る。

総取扱貨物量  
22年連続  
全国第1位



## 衣浦港の機能強化

知多及び西三河地域における物流・生産活動を支える工業港として、機能強化を図る。



## 三河港の機能強化

完成自動車等の国際海上輸送のハブ港として、機能強化を図る。

完成自動車  
輸入台数・金額  
31年連続  
全国第1位



## 港湾の脱炭素化

- ・ 国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す。
- ・ 名古屋港・衣浦港・三河港において、2023年度に港湾脱炭素化推進計画を策定した。

<名古屋港における取組事例>

- ・ 鍋田ふ頭: RTGの電動化、ヤード照明のLED化など
- ・ 飛島ふ頭: 荷役機械及び物流車両を対象とした水素利活用の実証を検討中



水素燃料電池を動力源としたRTG



# 豊かな農林水産業

- 農業産出額は約3千億円で中部地区最大、全国第8位(2022年)
- 産出額等が全国トップレベルの名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎなどの県産農林水産物のブランド力を強化し、知名度向上や需要の拡大を図る取組を推進

## 愛知県の主な農産物日本一(2022年)

※ 産出額、( )内は全国シェア



キャベツ  
195億円(21.6%)



しそ  
137億円(71.0%)



ふき  
9億円(37.5%)



うずら卵  
29億円(61.7%)



食用ぎく  
8億円(53.3%)

### 名古屋コーチン

・日本三大地鶏。唯一純粋種で供給され、産出額は、1962年から61年連続で日本一  
知名度・品質ともに「地鶏の王様」と高い評価



・2024年1月に、羽根の形でヒナの雌雄鑑別が可能な卵用新系統(NGY6)を開発

### 花き ※ 産出額 ( )内は全国シェア



きく  
223億円(38.1%)



ばら  
28億円(16.5%)



洋ラン  
50億円(14.4%)



観葉植物  
81億円(45.3%)

### あさり



あさり類(2023概算値) 2,900トン(53.7%)  
【生産量:全国1位】



うなぎ養殖(2023概算値) 3,810トン(20.8%)  
【生産量:全国2位】

### 抹茶(てん茶) (2023年)

てん茶  
365トン(8.7%)  
【生産量:全国4位】





# 産業人材の育成

○産業競争力を一層強化し、モノづくりあいちの次代を担う産業人材を育成・確保するための取組を推進

## 愛知総合工科高校における取組

- 県の工業教育の中核となる愛知総合工科高校を2016年4月に開校
- 国家戦略特区を活用し、専攻科を2017年4月から公設民営化 **全国初**
  - ・管理・運営：学校法人 名城大学(2017年度～)
  - ・専攻科(2年制、定員2学級×20人)の学科改編(2022年度)
    - 高度技術科(自動車・航空コース、電気・制御コース)
    - 先端技術科(情報・ITコース、電子・ロボットコース)

実際の生産現場で活躍し、実践的な技術・技能を有する人材等を登用し、直接指導を受ける教育環境を整備

- 中高一貫教育制度(高度ものづくり型)を2026年度から導入
  - ・AI・データサイエンスに興味・関心をもつ生徒の能力、可能性を引き出すため、中高一貫校を設置(1学年1学級、40人)
  - ・中学校段階からものづくりに触れ、中高6年間、専攻科を含めると8年間で、DXをリードする人材を育成

## 県立工科高校への校名変更と学科改編

- 新時代に対応した工業高校の再編(2021年度)
  - ・校名変更 工業高校等14校を工科高校に改称
  - ・学科改編 産業界のニーズを踏まえ、新たな学科・コースを設置

理工科(1校)、IT工学科(4校)、環境科学科(4校)  
ロボット工学科(7校)、生活コース(8校)

## 県立高等技術専門校の再編・整備

- 岡崎高等技術専門校の建替え
  - ・名古屋校との2校体制に再編(2025年度予定)
  - ・三河高等技術専門校へ校名変更(2025年度予定)
  - ・訓練科の新設(ロボットシステム科等)
- 在職者を対象とした職業訓練の規模・内容の充実
  - ・2024年度訓練規模：全165コース、1,600人

地域や企業のニーズを踏まえたモノづくり人材の育成機能を強化し、中小企業への支援の充実を図る



岡崎高等技術専門校の整備後イメージ

## 就職氷河期世代の活躍支援

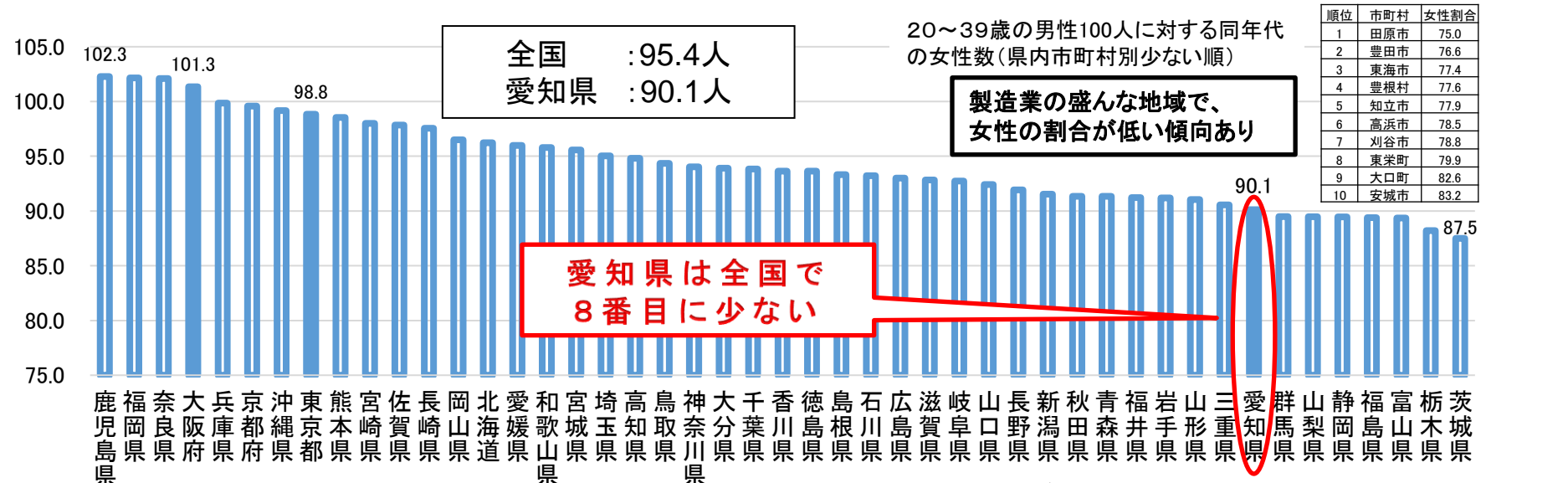
- 「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」の設置(2019.10.9) **全国初**
  - ・県、愛知労働局、経済団体、労働団体等で構成
  - ・事業実施計画の策定、官民一体で取組を推進
- 県職員としての積極的な採用
  - ・就職氷河期世代を対象とした職歴・学歴不問の職員採用試験を全国の都道府県に先駆けて実施(2016年度から2019年度まで毎年度5人程度採用、2020年度から2023年度まで毎年度10人程度採用、2024年度は11人採用)

# 女性の活躍促進に向けた取組の推進



○愛知県の20～39歳の男性100人に対する同年代の女性数は、90.1人(全国 95.4人)となっており、全国で8番目に少ない

○「女性が元気に働き続けられる愛知」を目指し、女性の活躍促進に向けた取組を推進



※総務省「住民基本台帳に基づく、人口、人口動態及び世帯数調査」より作成(2024.1.1現在)  
※外国人を含まない数値

## あいち・ウーマノミクス研究会(2015年度～)

- ・女性の活躍及び雇用促進について企業による意見交換を実施
- ・建設・運輸分野の業界団体と連携した女性活躍促進

## あいち女性の活躍促進サミット2024

- ・あいち女性の活躍促進会議の構成団体と連携し、企業トップの更なる意識改革を図るため、サミットを開催

## 「あいち女性輝きカンパニー」の認証(2015年度～)

- ・女性の活躍に向けた取組を積極的に実施する企業等を認証(2024.8.1現在 1,463社)

## 女性起業家の育成・促進

- ・女性起業家のビジネスの本格的な拡大や起業を支援するプログラムの実施、県内女性起業家等のコミュニティ形成促進

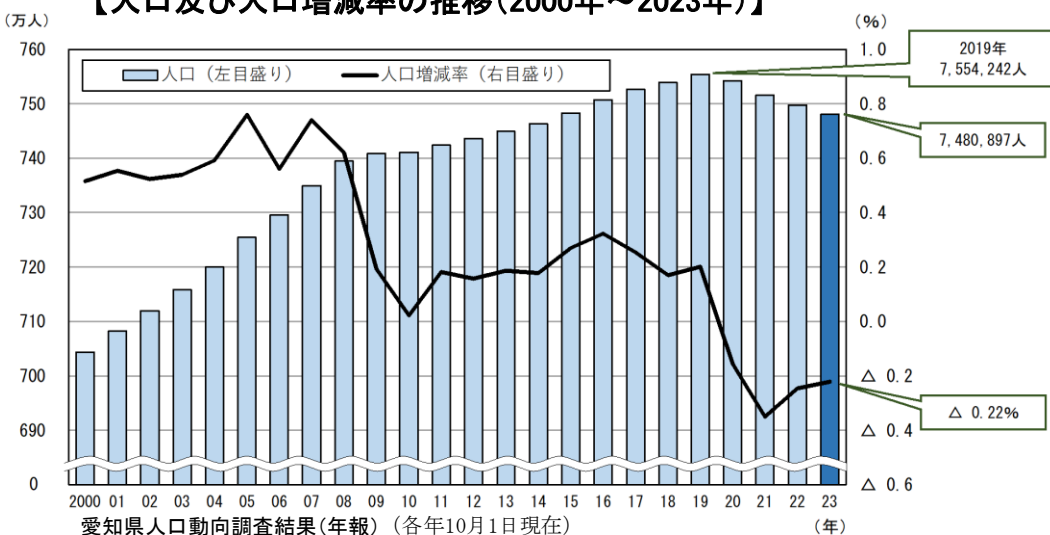
## 女子大学生への女性活躍推進企業のPR

- ・就職イベントを通じた「あいち女性輝きカンパニー」のPR等による県内大学へのアプローチを強化、女性大学生との交流会の開催等

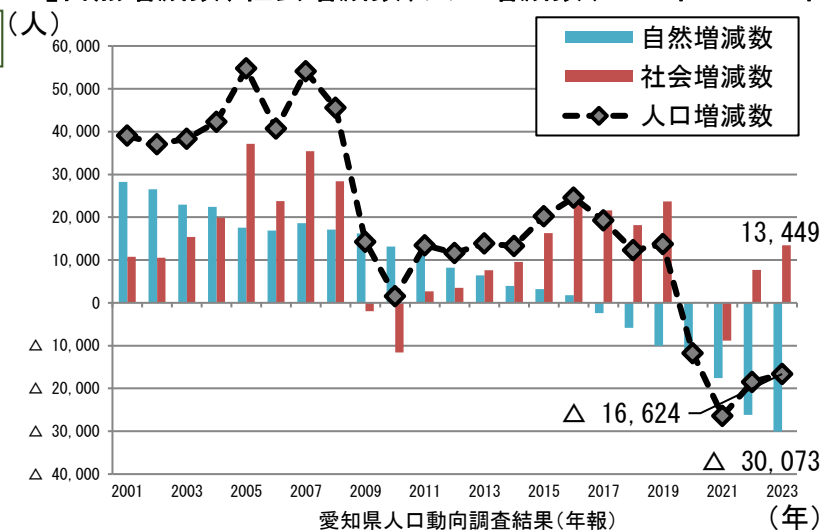
# 人口問題対策

- 本県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに4年連続で減少し、2023年には約748万1千人
- 自然増減は7年連続で減少しており、2022年との比較では、約3万人の減少。一方、社会増減は2年連続で増加しており、約1万3千人の増加
- 外国人住民数は、2023年12月末に約31万1千人で過去最高。新型コロナ感染拡大に伴う入国規制等により、2020、2021年は減少となったが、2022年から増加に転じている

【人口及び人口増減率の推移(2000年～2023年)】



【自然増減数、社会増減数、人口増減数(2001年～2023年)】



【外国人住民数】



## 愛知県人口問題対策本部

- ・ 知事を本部長として、県庁内で人口問題に対する危機意識を共有
- ・ 2023年10月に「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027 (愛知県人口問題対策プラン)」を策定

## 愛知県・市町村人口問題対策検討会議

- ・ 愛知県及び人口問題対策が特に必要な地区のある11市町村を中心に、人口問題対策を検討する会議を立上げ(第1回会議:2024年5月17日)

## 市町村との協働

- ・ 市町村の人口問題対策の取組に対して財政的に支援



# 少子化対策

- 少子化問題は、国家の存続にも関わる、まさに待ったなしの状況にあり、国と地方が連携・協力して取り組んでいかなければならない最重要課題
- 県として出来ることから進めていくため、2023年6月に国に先行して県独自の少子化対策パッケージとしてとりまとめた事業について、継続して実施

## ①結婚を希望する男女の出会いサポート

- **県主催大規模婚活イベントの開催**
  - ・ 愛・地球博記念公園にて400人の婚活イベントを実施
- **市町村婚活イベントへの補助**
  - ・ 20市町村 1市町村100万円×補助率1/2（上限）
- **民間婚活イベントへの補助**
  - ・ 出会い応援団が実施する婚活イベント 1団体20万円（上限）
- **オンライン型結婚支援センターの開設**
  - ・ AIマッチングシステムを活用したマッチングを行うとともに、オンライン相談による伴走型支援を実施

## ②低所得世帯への子育て支援

- **出産・子育て応援交付金の拡充**
  - ・ 2022年度から開始した国の制度である、妊娠から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する「出産・子育て応援交付金」の給付事業について、県独自に低所得世帯を対象とし拡充

| 時期         | 給付金 | 備考  |
|------------|-----|-----|
| 妊娠         | 5万円 | 国制度 |
| 出産         | 5万円 | 国制度 |
| 1歳6か月児健康診査 | 5万円 | 県独自 |
| 3歳児健康診査    | 5万円 | 県独自 |

## ③さまざまな問題を抱える妊産婦への支援

- **精神的サポート**
  - ・ SNSを活用した相談支援及び産科受診同行等のアウトリーチ型相談支援の実施 等
- **経済的サポート**
  - ・ 出産・子育て応援交付金の拡充（再掲） 等
- **里親制度等の活用**
  - ・ 里親制度や相談窓口を周知するカードの配布やインターネット広告の実施

## ④男性の育児休業取得を促進する中小企業等への支援

- **男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対する奨励金の支給**
  - ・ 支給対象  
男性従業員が通算14日以上の子育て休業を取得した県内中小企業等
  - ・ 支給額  
通算14日以上：50万円  
通算28日以上：100万円  
(1事業者につき1回限り)

# 愛知県「休み方改革」プロジェクトの取組

○ **休み方改革**を通じ、国民全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による日本経済の活性化の実現を目指す**独自のプロジェクト**



## ① あいち県民の日（11/27）・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- あいちウィーク(毎年11/21~27)におけるイベントの開催等 ● 市町村・民間事業者への連携事業等の働きかけ

## ② 家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり

### ● 「県民の日学校ホリデー」の実施

- あいちウィーク期間中の平日 1 日を学校休業日に指定

(県民の日学校ホリデー2023年度実施状況)

公立学校：県内全54市町村で実施、私立学校：8割以上で実施

2024年のあいちウィーク

|          |          |            |          |          |          |          |
|----------|----------|------------|----------|----------|----------|----------|
| 11/21(木) | 11/22(金) | 11/23(土・祝) | 11/24(日) | 11/25(月) | 11/26(火) | 11/27(水) |
|          |          | 勤労感謝の日     |          |          |          | 県民の日     |

### ● 「ラーケーションの日」の推進に向けた環境整備

- 家族の休みに合わせ、子どもが校外での体験・探究の学び・活動を実践
- 学校の負担軽減のため、校務支援員等を配置

## ③ 休暇を取得しやすい職場環境づくり

認定企業数 471社 (2024.8.31時点)

### ● 休み方改革マイスター企業認定制度の推進

- 年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を認定



## ④ 平日や閑散期への観光需要のシフト

### ● あいちスキ旅キャンペーン

参画施設数：最多時176件

- 平日や閑散期に旅行者向けの割引等の特典を提供する事業者をPR

### ● あいち・なごや周遊観光パスポート

- 平日限定で、県内26の美術館・博物館等に各施設1回ずつ入場できるチケットを発売 (販売期間2024年7月22日～2025年1月31日)

### ● ワークेशन促進事業の実施

## ⑤ 地域が一体となった「休み方改革」の推進

### ● 愛知県「休み方改革」イニシアチブ

- 地域が一体となって盛り上げ、国民運動として全国に展開



イニシアチブ賛同企業・団体数：1,054件 (2024.8.31時点)

## ⑥ 職員の「休み方改革」の推進

### ● 職員の連続休暇の取得を促進

- 大型連休にあわせた連続休暇の取得促進

- 時期分散型の連続休暇「あいちマイ・ウィーク・プラン」の実施